

令和4年度 学校基本調査速報（宮城県）の概要

－ 令和4年5月1日現在 －

調査結果の概要

1 学校（園）数，学級数，在学者数及び教員数の増減（対前年度）

学校（園）数等を前年度と比較した結果は以下のとおりである。増減の詳細は表1（2頁）のとおり
学校（園）の新設・廃止の状況は表2（3頁）のとおりである。

（1）学校（園）数

増加：幼保連携型認定こども園 20 園，各種学校 1 校

減少：小学校 7 校，中学校 2 校，幼稚園 10 園，専修学校 1 校

（2）学級数

増加：小学校 19 学級，義務教育学校 1 学級，幼保連携型認定こども園 68 学級

減少：中学校 14 学級，特別支援学校 12 学級，幼稚園 59 学級

（3）在学者数

増加：義務教育学校 53 人，特別支援学校 33 人，幼保連携型認定こども園 1,849 人，
各種学校 136 人

減少：小学校 1,098 人，中学校 501 人，高等学校（全日制・定時制）1,217 人，
中等教育学校 3 人，幼稚園 2,542 人，専修学校 533 人

（4）教員数（本務者）

増加：小学校 32 人，特別支援学校 13 人，幼保連携型認定こども園 461 人，各種学校 4 人

減少：中学校 41 人，義務教育学校 8 人，高等学校（全日制・定時制）47 人，幼稚園 69 人，
専修学校 10 人

表1 学校(園)数, 学級数, 在学者数及び教員数

(単位:校, 学級, 人)

区分	学校数			学級数			在学者数			教員数(本務者)								
	R4	R3	対前年度増減数	R4	R3	対前年度増減数	R4	R3	対前年度増減数	R4	R3	対前年度増減数						
小学校	367	374	△7	4,959	4,940	19	111,148	112,246	△1,098	7,941	7,909	32						
中学校	203	205	△2	2,315	2,329	△14	58,247	58,748	△501	4,875	4,916	△41						
義務教育学校	2	2	-	43	42	1	836	783	53	80	88	△8						
高等学校	全日制	88	88	-	…	…	52,884	53,994	△1,110	4,203	4,252	△49						
	うち定時制を併置	6	6	-	…	…												
	うち通信制を併置	2	2	-	…	…												
	定時制	7	7	-	…	…							1,228	1,335	△107	289	287	2
	通信制	2	2	-	…	…							(5,743)	(4,654)	(1,089)	(154)	(131)	(23)
中等教育学校	1	1	-	12	12	-	803	806	△3	62	62	-						
特別支援学校	29	29	-	652	664	△12	2,669	2,636	33	1,627	1,614	13						
幼稚園	212	222	△10	1,069	1,128	△59	21,180	23,722	△2,542	2,060	2,129	△69						
幼保連携型認定こども園	99	79	20	404	336	68	11,984	10,135	1,849	2,261	1,800	461						
専修学校	68	69	△1	…	…	…	16,977	17,510	△533	928	938	△10						
各種学校	23	22	1	…	…	…	1,319	1,183	136	113	109	4						
計	1,101	1,100	1	9,454	9,451	3	279,275	283,098	△3,823	24,439	24,104	335						

注1 …印は調査しない事項

注2 中等教育学校の学級数は, 前期課程分のみ

注3 高等学校通信制の在学者数・教員数(独立・併置含む)については外数で, 計には含めていない

注4 学校数の増減は, 新設・廃止によるもの

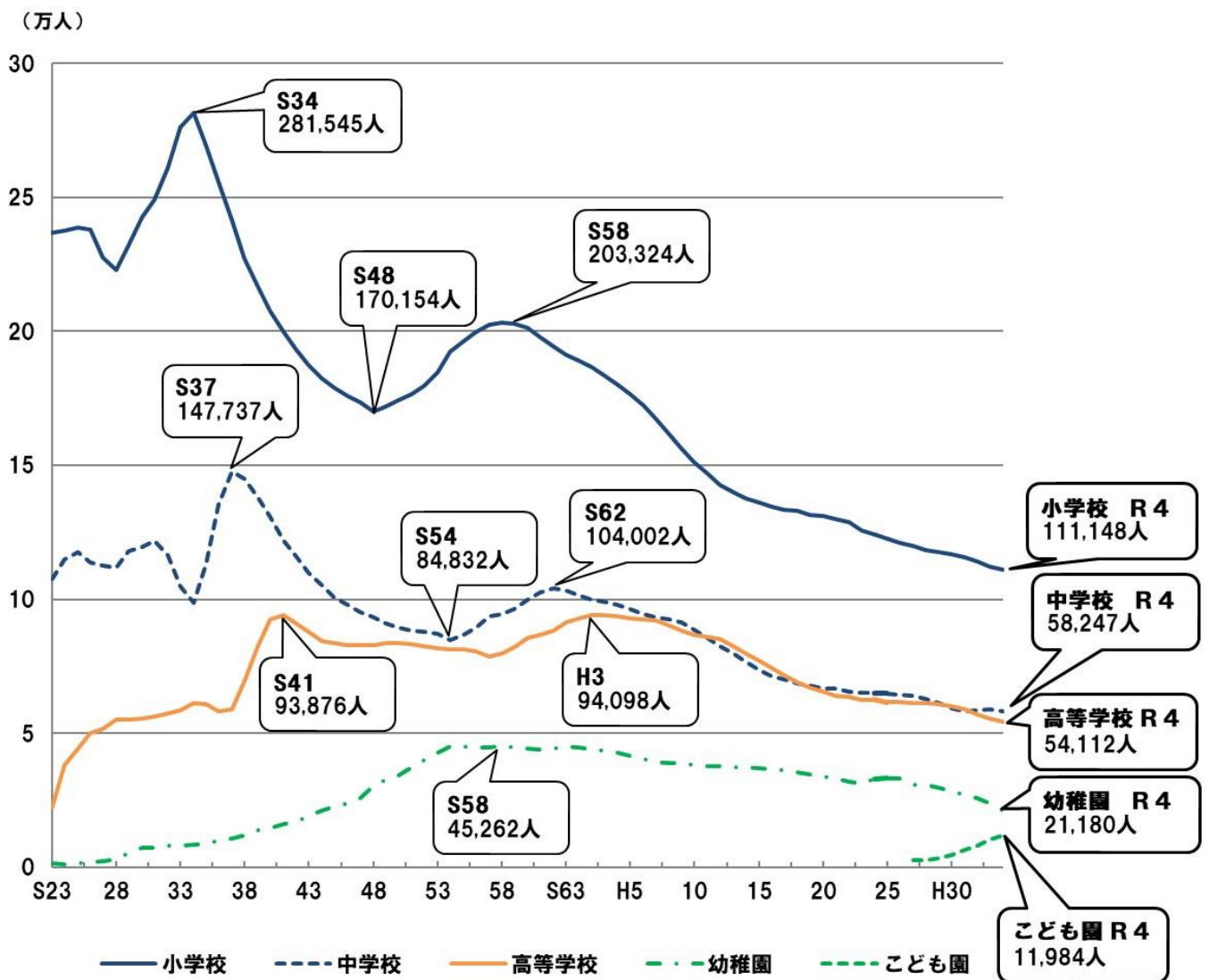
表2 令和4年度新設・廃止校の状況

	〔新設〕	〔廃止〕
小学校		角田市立西根小学校 丸森町立小斎小学校 丸森町立金山小学校 丸森町立大張小学校 丸森町立筆甫小学校 丸森町立耕野小学校 丸森町立大内小学校
中学校		気仙沼市立大島中学校 角田市立金津中学校
幼稚園		気仙沼市立馬込幼稚園 登米市立東郷幼稚園 登米市立米山東幼稚園 東松島市立矢本中央幼稚園 村田町立沼辺幼稚園 日和幼稚園 美田園わかば幼稚園 →幼保連携型認定こども園へ移行 石森幼稚園 若柳よしの幼稚園 みやの森幼稚園 →幼保連携型認定こども園へ移行
認定こども園 幼保連携型	落合はぐみこども園 愛子すぎのこども園 食と森のこども園小松島 ミッキー北仙台こども園 幼保連携型認定こども園中野栄あしぐろこども園 認定こども園ろりぽっが出花園 認定こども園ろりぽっが保育園 幼保連携認定型こども園明石南こどもの城 幼保連携認定型こども園桂こどもの城 ミッキー八乙女こども園 認定こども園ろりぽっが泉中央南園	認定こども園ろりぽっが赤い屋根の保育園 認定こども園石巻ひまわりこども園 閑上わかばこども園 幼保連携型認定こども園青山すぎのこども園 幼保連携型認定こども園大和すぎのこども園 みやの森こども園 菜の花こども園 すみれの花こども園 幼保連携型認定こども園食と森のこども園美里
学専校修		文理ランドスケープ園芸専門学校
学各校種	理知の杜日本語学校仙台校	

2 在学者の推移

- 昭和 23 年度からの推移をみると、小学校は、昭和 34 年度（281,545 人）のピークから昭和 48 年度まで減少した後、昭和 58 年度まで増加傾向にあったが、その後再び減少し、今年度の児童数 111,148 人は調査以来過去最低である。
- 中学校は、昭和 37 年度（147,737 人）のピークから昭和 54 年度まで減少した後、昭和 62 年度まで増加傾向にあったが、その後再び減少し、今年度の生徒数 58,247 人となり、調査以来過去最低である。
- 高等学校は、平成 3 年度（94,098 人）のピークから、平成 26 年度を除き減少が続いており、今年度は 54,112 人となった。
- 幼稚園は、昭和 58 年度（45,262 人）のピークから、増加と減少を繰り返しながら、近年は減少が続いており、今年度は 21,180 人となった。また、幼保連携型認定こども園の在園者数は、前年度より 1,849 人増加して 11,984 人となった。

図 1 学校種別在学者の推移（昭和 23 年度～令和 4 年度）



令和3年度学校保健統計調査の結果について

I 調査の概要

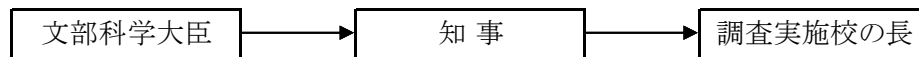
この速報は、令和3年度に文部科学省が実施した学校保健統計調査(基幹統計:統計法第2条)の結果の中から、本県分を取りまとめたものである。

1 調査の目的

この調査は、学校における幼児、児童及び生徒の発育及び健康の状態を明らかにすることを目的とする。

2 調査の方法

- (1) 学校保健安全法による健康診断の結果について、学校を抽出し調査した。
- (2) 調査系統は次のとおりである。



3 調査の範囲・対象

- (1) 調査の範囲は、国立、公立、私立の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、幼稚園及び幼保連携型認定こども園のうち、文部科学大臣があらかじめ指定する学校とする。(抽出調査)
- (2) 調査の対象は、調査実施校に在籍する満5歳から17歳(令和3年4月1日現在)までの幼児、児童及び生徒(以下「児童等」という。)の一部である。

区 分	小学校	中学校	高等学校	幼稚園	計	
学校総数	376校	208校	96校	301校	981校	
児童等総数 (a)	112,787人	59,406人	55,719人	11,447人	239,359人	
調査実施校数	60校	40校	29校	34校	163校	
調査対象者数	発育状態	5,749人	4,671人	2,565人	1,310人	14,295人
	(a)に対する抽出率	(5.1%)	(7.9%)	(4.6%)	(11.4%)	(6.0%)
調査対象者数	健康状態	30,317人	17,365人	22,344人	2,301人	72,327人
	(a)に対する抽出率	(26.9%)	(29.2%)	(40.1%)	(20.1%)	(30.2%)

- (注) 1. 学校総数、児童、生徒、幼児(5歳在園児のみ)総数は、令和3年度学校基本調査(確報)による。
2. 小学校には義務教育学校の第1～6学年を、中学校には義務教育学校の第7～9学年及び中等教育学校の前期課程を、高等学校には中等教育学校の後期課程を、幼稚園には幼保連携型認定こども園をそれぞれ含む。高等学校に通信制は含まない。
3. 発育状態の調査は、調査実施校に在学する幼児、児童及び生徒のうちから年齢別男女別に、文部科学省が定める方法により抽出された者を対象としている。
健康状態の調査は、調査実施校の在学者全員を対象としている。

4 調査の期日

期日： 学校保健安全法による健康診断の結果に基づき、令和3年4月1日から令和4年3月31日の間に実施。

5 調査事項

- (1) 児童等の発育状態(身長, 体重)
- (2) 児童等の健康状態(栄養状態, 脊柱・胸郭・四肢の疾病・異常の有無, 視力, 聴力, 眼の疾病・異常の有無, 耳鼻咽頭疾患・皮膚疾患の有無, 歯・口腔の疾病・異常の有無, 結核の有無, 結核に関する検診の結果, 心臓の疾病・異常の有無, 尿及びその他の疾病・異常の有無)

6 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う対応

令和3年度については、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年4月1日から6月30日に実施される健康診断について当該年度末までに実施することとなったため、学校保健統計調査においても調査期間を年度末まで延長することとした。

このため、本集計結果は、成長の著しい時期において測定時期を異にしたデータを集計したものとなっており、過去の数値と単純比較することはできない。

7 その他

平成23年度学校保健統計調査は、東日本大震災の影響により宮城県では調査中止となったため、一部数値のない箇所がある。

II 調査結果の概要

1 発育状態調査

(1) 発育状態 (第1表)

イ 身長

男子は、14歳(中学校3年生)が全国平均値を下回っている。

女子は、14歳(中学校3年生)及び17歳(高等学校3年生)が、全国平均値を下回っている。

また、全国順位をみると、男女ともに半数以上の年齢で、上位10位以内となっている。

男子では、9歳(小学校4年生)が全国2位、10歳(小学校5年生)が全国3位となっている。

女子では、7歳(小学校2年生)、9歳(小学校4年生)及び11歳(小学校6年生)が全国4位となっている。

ロ 体重

男女ともに全ての年齢で、全国平均値を上回っている。

また、全国順位をみると、男女ともに半数以上の年齢で、上位10位以内となっている。

男子では、6歳(小学校1年生)が全国2位、5歳(幼稚園)、9歳(小学校4年生)及び13歳(中学校2年生)が全国3位となっている。

女子では、9歳(小学校4年生)及び11歳(小学校6年生)が全国1位、5歳(幼稚園)が全国2位となっている。

(2) 肥満傾向児及び痩身傾向児の出現率 (第2表)

肥満傾向児の出現率は、男女ともに全ての年齢で全国値より高くなっている。

全国順位でみると、男子の13歳(中学校2年生)全国2位、女子の9歳(小学校4年生)及び11歳(小学校6年生)が全国1位となっている。

痩身傾向児の出現率は、全年齢区分の6割以上の年齢で全国値より低くなっている。

全国順位でみると、男子の6歳(小学校1年生)が全国2位となっている。

2 健康状態調査 (第3表)

主な疾病・異常の被患率を全国値と比較すると、むし歯(う歯)が全ての学校種別において全国値より高くなっている。一方、心電図異常は、全ての学校種別において全国値より低くなっている。

疾病・異常の被患率別にみると、幼稚園においては「むし歯(う歯)」の者の割合が32.6%と最も高くなっている。

小学校においても「むし歯(う歯)」の者の割合が43.1%と最も高く、次いで「裸眼視力1.0未満の者」の順となっている。

中学校においては「裸眼視力1.0未満の者」の割合が64.0%と最も高く、次いで「むし歯(う歯)」の順となっている。

高等学校においても「裸眼視力1.0未満の者」の割合が66.6%と最も高く、次いで「むし歯(う歯)」の順となっている。

第1表 発育状態調査【年齢別身長・体重の平均値】

区分	身長 (cm)								体重 (kg)									
	男子				女子				男子				女子					
	宮城 (a)	全国 (b)	差 (a)-(b)	順位	宮城 (a)	全国 (b)	差 (a)-(b)	順位	宮城 (a)	全国 (b)	差 (a)-(b)	順位	宮城 (a)	全国 (b)	差 (a)-(b)	順位		
幼稚園 小学校	5歳	111.3	111.0	0.3	11	110.6	110.1	0.5	8	19.7	19.3	0.4	3	19.5	19.0	0.5	2	
1年生	6歳	117.4	116.7	0.7	5	116.4	115.8	0.6	6	22.3	21.7	0.6	2	21.7	21.2	0.5	5	
2年生	7歳	122.9	122.6	0.3	8	122.5	121.8	0.7	4	25.1	24.5	0.6	5	24.6	23.9	0.7	3	
3年生	8歳	128.8	128.3	0.5	8	127.9	127.6	0.3	14	28.5	27.7	0.8	6	27.3	27.0	0.3	10	
4年生	9歳	134.9	133.8	1.1	2	135.3	134.1	1.2	4	32.7	31.3	1.4	3	32.5	30.6	1.9	1	
5年生	10歳	140.1	139.3	0.8	3	141.0	140.9	0.1	19	36.0	35.1	0.9	9	35.8	35.0	0.8	8	
6年生	11歳	146.9	145.9	1.0	5	147.9	147.3	0.6	4	41.3	39.6	1.7	5	42.0	39.8	2.2	1	
中学校	1年生	12歳	153.8	153.6	0.2	11	152.6	152.1	0.5	6	46.7	45.2	1.5	4	45.5	44.4	1.1	3
2年生	13歳	161.4	160.6	0.8	5	155.1	155.0	0.1	12	51.6	50.0	1.6	3	48.4	47.6	0.8	6	
3年生	14歳	165.6	165.7	△ 0.1	18	156.3	156.5	△ 0.2	28	55.1	54.7	0.4	15	50.8	50.0	0.8	9	
高等学校	1年生	15歳	168.8	168.6	0.2	10	157.5	157.3	0.2	11	59.7	59.0	0.7	15	52.7	51.3	1.4	4
2年生	16歳	170.1	169.8	0.3	14	158.1	157.7	0.4	8	60.8	60.5	0.3	21	53.6	52.3	1.3	3	
3年生	17歳	170.8	170.8	0.0	17	157.5	158.0	△ 0.5	32	63.2	62.4	0.8	17	53.2	52.5	0.7	11	

第2表 発育状態調査【肥満傾向児及び痩身傾向児の出現率】

区分	肥満傾向児 (%)								痩身傾向児 (%)									
	男子				女子				男子				女子					
	宮城 (a)	全国 (b)	差 (a)-(b)	順位	宮城 (a)	全国 (b)	差 (a)-(b)	順位	宮城 (a)	全国 (b)	差 (a)-(b)	順位	宮城 (a)	全国 (b)	差 (a)-(b)	順位		
幼稚園 小学校	5歳	5.02	3.61	1.41	8	4.90	3.73	1.17	7	0.10	0.30	△ 0.20	35	-	0.36	-	-	
1年生	6歳	7.77	5.25	2.52	3	7.47	5.15	2.32	5	0.84	0.28	0.56	2	0.81	0.49	0.32	5	
2年生	7歳	10.00	7.61	2.39	8	9.08	6.87	2.21	8	0.68	0.31	0.37	3	0.62	0.56	0.06	11	
3年生	8歳	12.61	9.75	2.86	5	9.69	8.34	1.35	15	0.16	0.84	△ 0.68	45	0.93	0.83	0.10	15	
4年生	9歳	16.21	12.03	4.18	5	14.73	8.24	6.49	1	0.84	1.42	△ 0.58	38	1.36	1.66	△ 0.30	29	
5年生	10歳	14.18	12.58	1.60	16	12.22	9.26	2.96	7	3.72	2.32	1.40	3	1.65	2.36	△ 0.71	39	
6年生	11歳	17.01	12.48	4.53	5	16.05	9.42	6.63	1	1.47	2.83	△ 1.36	44	2.01	2.18	△ 0.17	24	
中学校	1年生	12歳	16.73	12.58	4.15	3	11.50	9.15	2.35	11	2.04	3.03	△ 0.99	38	3.86	3.55	0.31	12
2年生	13歳	14.39	10.99	3.40	2	11.18	8.35	2.83	3	2.61	2.73	△ 0.12	15	2.37	3.22	△ 0.85	37	
3年生	14歳	11.38	10.25	1.13	15	11.11	7.80	3.31	4	2.85	2.64	0.21	17	2.37	2.55	△ 0.18	20	
高等学校	1年生	15歳	13.92	12.30	1.62	19	9.99	7.57	2.42	13	4.00	4.02	△ 0.02	12	4.03	3.10	0.93	5
2年生	16歳	11.53	10.64	0.89	18	8.78	7.20	1.58	16	3.79	3.34	0.45	11	1.27	2.33	△ 1.06	43	
3年生	17歳	12.27	10.92	1.35	19	10.08	7.07	3.01	12	2.06	3.07	△ 1.01	35	1.36	2.19	△ 0.83	38	

- 1 肥満傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が20%以上の者をいう。
- 2 痩身傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度がマイナス20%以下の者をいう。

第3表 健康状態調査【主な疾患・異常被患率】

区分	幼稚園				小学校				中学校				高等学校			
	宮城		全国	差	宮城		全国	差	宮城		全国	差	宮城		全国	差
	R2	R3	(a)	(b)	(a)-(b)	R2	R3	(a)	(b)	(a)-(b)	R2	R3	(a)	(b)	(a)-(b)	
むし歯(う歯)	29.9	32.6	26.5	6.1	45.6	43.1	39.0	4.1	40.4	37.6	30.4	7.2	46.0	50.8	39.8	11.0
アトピー性皮膚炎	2.0	1.7	1.8	△ 0.1	4.5	5.4	3.2	2.2	3.1	5.5	3.0	2.5	2.8	3.2	2.6	0.6
ぜん息	1.1	0.4	1.5	△ 1.1	5.8	4.6	3.3	1.3	2.9	3.5	2.3	1.2	1.4	2.2	1.7	0.5
裸眼視力1.0未満の者	25.1	X	24.8	-	38.2	37.5	36.9	0.6	60.1	64.0	60.3	3.7	57.2	66.6	64.4	2.2
心電図異常	0.5	0.6	2.5	△ 1.9	1.6	2.2	3.1	△ 0.9	2.0	1.8	3.2	△ 1.4
蛋白検出の者	0.9	-	0.7	-	0.5	0.3	0.9	△ 0.6	1.6	1.9	2.8	△ 0.9	1.1	1.2	2.8	△ 1.6
せき柱・胸部・四肢の状態	0.5	0.3	0.2	0.1	2.0	0.8	0.8	0.0	1.4	1.3	1.7	△ 0.4	0.5	1.2	1.2	0.0
耳疾患	4.9	0.3	2.0	△ 1.7	6.8	9.3	6.8	2.5	5.1	4.2	4.9	△ 0.7	4.4	2.7	2.5	0.2
鼻・副鼻腔疾患	4.6	1.0	3.0	△ 2.0	8.4	10.6	11.9	△ 1.3	10.4	10.0	10.1	△ 0.1	19.4	11.3	8.8	2.5
口腔咽喉頭疾患・異常	3.2	1.2	0.6	0.6	0.4	0.6	0.9	△ 0.3	0.2	0.3	0.5	△ 0.2	0.0	0.1	0.2	△ 0.1

「-」 計数が無い場合

「…」 計数出現があり得ない場合又は調査対象とならなかった場合

「X」 標本サイズが小さい等のため統計数値を公表しない場合

Ⅲ 肥満傾向児の出現率 (小5男女・中2男女)

1 国値との比較

肥満傾向児の出現率は、男女ともに全ての年齢で全国値より高くなっている。
 全国順位でみると、男子の13歳(中学校2年生)全国2位、女子の9歳(小学校4年生)及び11歳(小学校6年生)が全国1位となっている。

2 昨年度及び震災前(平成22年度との比較)

令和3年度については、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年4月1日から6月30日に実施される健康診断についても当該年度末までに実施することとなったため、学校保健統計調査においても調査期間を年度末まで延長することとした。

このため、本集計結果は、成長の著しい時期において測定時期を異にしたデータを集計したものとなっており、過去の数値と単純比較することはできないことから、昨年度及び震災前(平成22年)については、参考値として数値のみを掲載することとする。

○男子

(単位:%)

区分	令和3年度				令和2年度			平成22年度		
	宮城県値 (a)	全国値 (b)	差 (a-b)	順位	宮城県値 (c)	差※ (a-c)	順位	宮城県値 (d)	差※ (a-d)	順位
幼稚園	5.02	3.61	1.41	8	4.67	0.35	6	4.27	0.75	6
小学校										
1年生	7.77	5.25	2.52	3	5.35	2.42	27	6.99	0.78	6
2	10.00	7.61	2.39	8	10.70	△ 0.70	11	7.43	2.57	12
3	12.61	9.75	2.86	5	15.63	△ 3.02	5	10.17	2.44	8
4	16.21	12.03	4.18	5	19.90	△ 3.69	2	13.43	2.78	5
5	14.18	12.58	1.60	16	18.89	△ 4.71	5	13.07	1.11	8
6	17.01	12.48	4.53	5	18.32	△ 1.31	3	10.70	6.31	21
中学校										
1年生	16.73	12.58	4.15	3	17.04	△ 0.31	2	16.56	0.17	2
2	14.39	10.99	3.40	2	13.24	1.15	14	14.56	△ 0.17	2
3	11.38	10.25	1.13	15	13.35	△ 1.97	10	12.45	△ 1.07	2
高等学校										
1年生	13.92	12.30	1.62	19	15.76	△ 1.84	6	12.28	1.64	24
2	11.53	10.64	0.89	18	17.10	△ 5.57	2	13.35	△ 1.82	13
3	12.27	10.92	1.35	19	13.05	△ 0.78	25	10.98	1.29	26

※「差※」は、令和3年度の宮城県値と、令和2年度、平成22年度の宮城県値をそれぞれ比較したもの。

○女子

区分	令和3年度				令和2年度			平成22年度		
	宮城県値 (a)	全国値 (b)	差 (a-b)	順位	宮城県値 (c)	差※ (a-c)	順位	宮城県値 (d)	差※ (a-d)	順位
幼稚園	4.90	3.73	1.17	7	5.05	△ 0.15	7	5.90	△ 1.00	2
小学校										
1年生	7.47	5.15	2.32	5	6.20	1.27	11	7.68	△ 0.21	5
2	9.08	6.87	2.21	8	10.96	△ 1.88	1	7.55	1.53	8
3	9.69	8.34	1.35	15	15.31	△ 5.62	1	8.62	1.07	12
4	14.73	8.24	6.49	1	14.10	0.63	2	9.54	5.19	8
5	12.22	9.26	2.96	7	13.22	△ 1.00	7	11.76	0.46	3
6	16.05	9.42	6.63	1	12.50	3.55	8	12.14	3.91	5
中学校										
1年生	11.50	9.15	2.35	11	11.02	0.48	11	14.11	△ 2.61	1
2	11.18	8.35	2.83	3	11.04	0.14	7	12.71	△ 1.53	1
3	11.11	7.80	3.31	4	9.30	1.81	17	12.09	△ 0.98	2
高等学校										
1年生	9.99	7.57	2.42	13	9.10	0.89	11	8.16	1.83	32
2	8.78	7.20	1.58	16	4.88	3.90	44	7.34	1.44	26
3	10.08	7.07	3.01	12	8.83	1.25	23	6.62	3.46	40

※「差※」は、令和3年度の宮城県値と、令和2年度、平成22年度の宮城県値をそれぞれ比較したもの。

Ⅲ 肥満傾向児の出現率 (小5男女・中2男女)

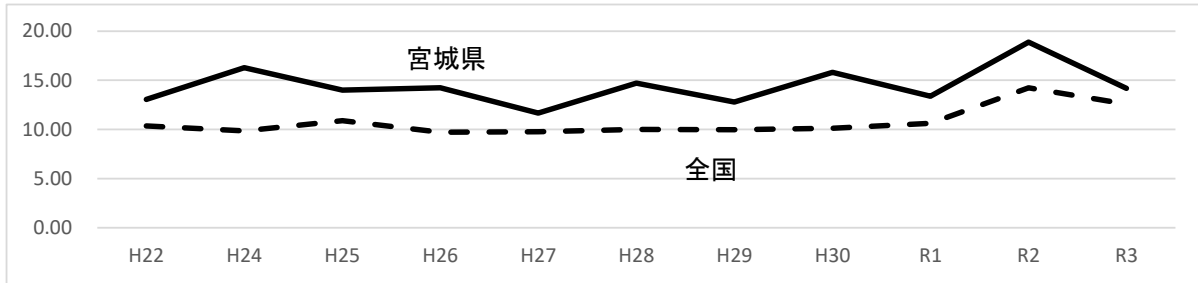
文部科学省:学校保健統計調査(抽出調査:国公立)

H23年度は実施していない

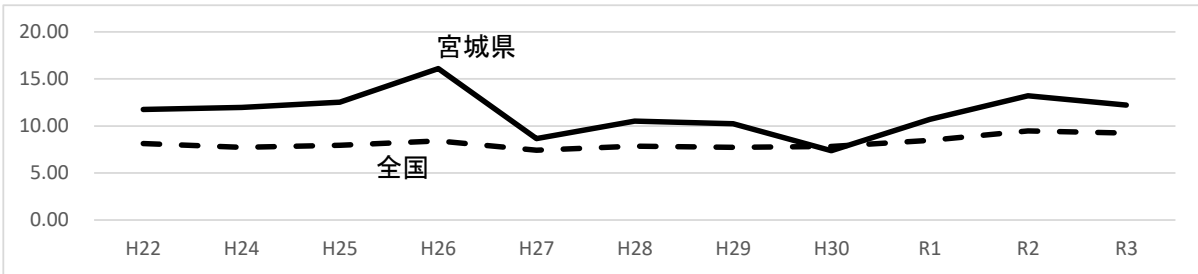
小5・中2男女とも全国平均値を上回っている。

(単位:%)

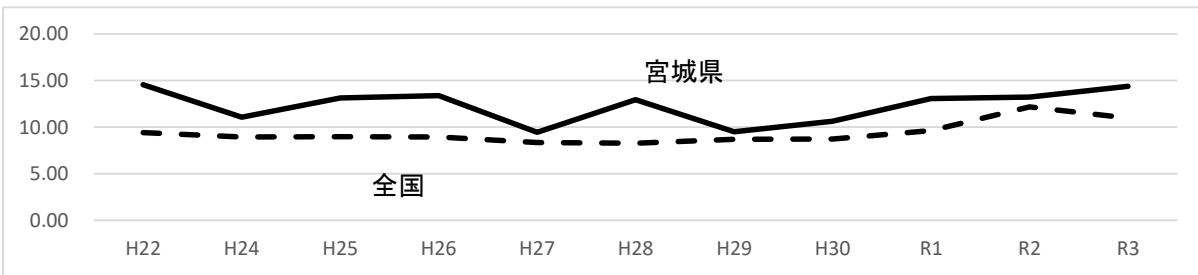
小5男子	H22	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
宮城県	13.07	16.28	14.00	14.24	11.67	14.72	12.79	15.80	13.37	18.89	14.18
全国	10.37	9.86	10.90	9.72	9.77	10.01	9.99	10.11	10.63	14.24	12.58



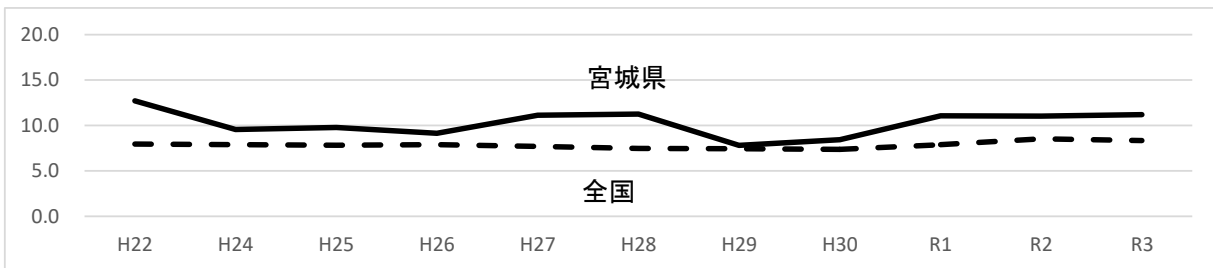
小5女子	H22	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
宮城県	11.76	11.96	12.53	16.10	8.67	10.53	10.25	7.37	10.70	13.22	12.22
全国	8.13	7.73	7.96	8.40	7.42	7.86	7.74	7.82	8.46	9.47	9.26



中2男子	H22	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
宮城県	14.56	11.06	13.14	13.40	9.45	12.96	9.51	10.63	13.09	13.24	14.39
全国	9.41	8.96	8.97	8.94	8.37	8.28	8.69	8.73	9.63	12.18	10.99



中2女子	H22	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
宮城県	12.71	9.55	9.79	9.15	11.13	11.27	7.81	8.45	11.05	11.04	11.18
全国	7.96	7.90	7.83	7.89	7.69	7.46	7.45	7.37	7.88	8.53	8.35



IV 健康状態調査（う歯の状態）

文部科学省：学校保健統計調査（抽出調査：国公立）

H23年度は実施していない

- ① むし歯（う歯）は、全ての学校種別において全国値より高くなっている。
 ② むし歯（う歯）の者の割合は、幼稚園と高等学校で増加したが、小学校と中学校では減少した。

（単位：％）

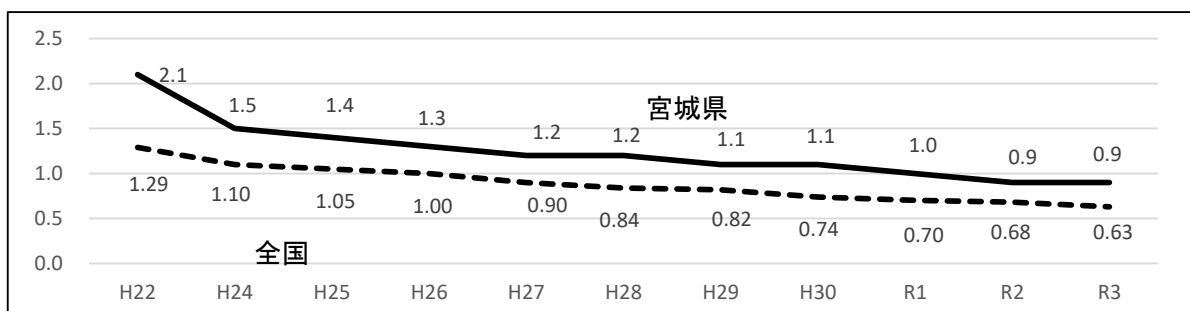
		H22	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
幼稚園	宮城県	57.6	58.6	56.5	50.6	48.6	48.4	43.4	42.2	32.5	29.9	32.6
	全国	46.1	42.9	39.5	38.5	36.2	35.6	35.5	35.1	31.2	30.3	26.5
	差	11.5	15.7	17.0	12.1	12.4	12.8	7.9	7.1	1.3	△ 0.4	6.1
小学校	宮城県	63.4	61.7	58.5	57.6	58.1	55.2	53.2	49.5	48.4	45.6	43.1
	全国	59.6	55.8	54.1	52.5	50.8	48.9	47.1	45.3	44.8	40.2	39.0
	差	3.8	5.9	4.4	5.1	7.3	6.3	6.1	4.2	3.6	5.4	4.1
中学校	宮城県	62.9	55.3	51.2	50.7	49.0	44.8	43.2	43.3	43.9	40.4	37.6
	全国	50.6	45.7	44.6	42.4	40.5	37.5	37.3	35.4	34	32.2	30.4
	差	12.3	9.6	6.6	8.3	8.5	7.3	5.9	7.9	9.9	8.2	7.2
高等学校	宮城県	69.3	68.1	63.6	64.6	61.0	54.0	54.1	56.3	57.8	46.0	50.8
	全国	60.0	57.6	55.1	53.1	52.5	49.2	47.3	45.4	43.7	41.7	39.8
	差	9.3	10.5	8.5	11.5	8.5	4.8	6.8	10.9	14.1	4.3	11.0

- ③ 12歳児一人平均DMF歯数は、徐々に減少傾向にあるが、全国平均を上回っている。

（単位：本）

中1	H22	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
宮城県	2.1	1.5	1.4	1.3	1.2	1.2	1.1	1.1	1.0	0.9	0.9
全国	1.29	1.10	1.05	1.00	0.90	0.84	0.82	0.74	0.70	0.68	0.63

※ DMF歯数：「D治療されていないむし歯」、「Mむし歯で失った歯」、「Fむし歯治療済みの歯」の合計を一人平均にしたもの



V 裸眼視力1.0未満の者の割合

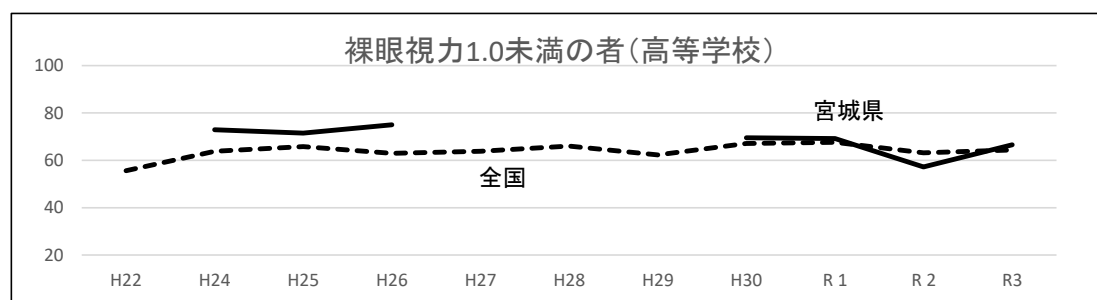
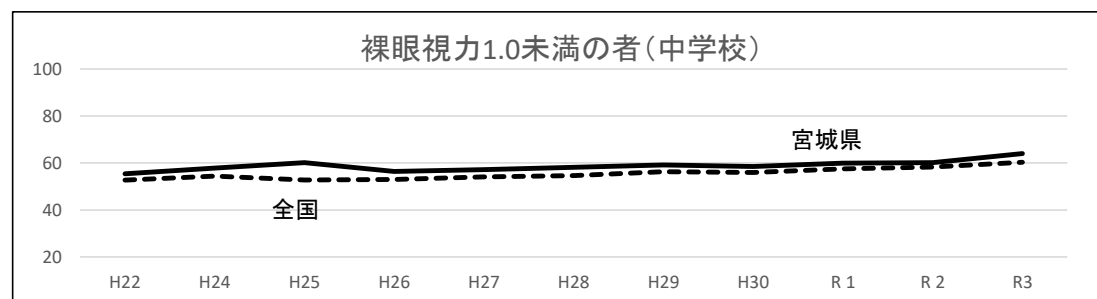
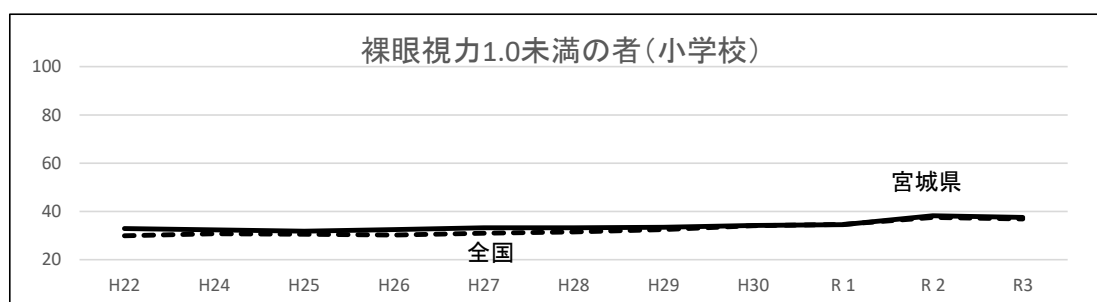
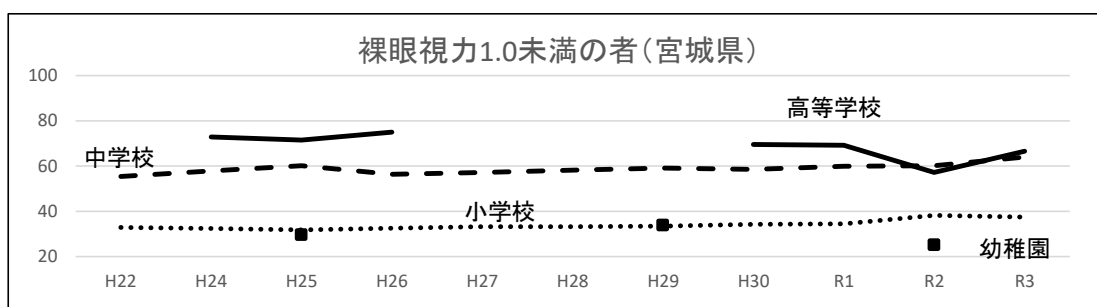
文科省コメント

- ①裸眼視力1.0未満の者の割合は、年齢が高くなるにつれておおむね増加傾向。
 ②小学1年生で4人に1人、小学3年生で約3人に1人、小学6年生では約半数となっている。

(参考)

区分	令和3年度			令和2年度		令和元年度		平成30年度		平成29年度		平成22年度	
	宮城県値 (a)	全国値 (b)	差 (a)-(b)	宮城県値 (c)	差※ (a)-(c)	宮城県値 (d)	差※ (a)-(d)	宮城県値 (e)	差※ (a)-(e)	宮城県値 (f)	差※ (a)-(f)	宮城県値 (g)	差※ (a)-(g)
幼稚園	×	24.8	-	25.1	-	×	-	-	-	33.8	-	-	-
小学校	37.5	36.9	0.6	38.2	△ 0.7	34.5	3.0	34.2	3.3	33.4	4.1	32.9	4.6
中学校	64.0	60.3	3.7	60.1	3.9	59.9	4.1	58.5	5.5	59.1	4.9	55.4	8.6
高等学校	66.6	64.4	2.2	57.2	9.4	69.2	△ 2.6	69.5	△ 2.9	-	-	-	-

※「差※」は、令和3年度の宮城県値と、各年度の宮城県値をそれぞれ比較したもの。



VI 課題と取組

(1) 課題

- ① 幼児期から正しい生活習慣を身に付けさせ、小学校・中学校・高等学校においても継続した取組が求められる。
 - ・肥満傾向児の出現率が、男女ともに全ての学年で、全国平均値を上回っている。
- ② 学校の組織的な取組がより一層求められる。
 - ・肥満傾向児出現率、むし歯被患者の割合が高いため、体力・運動能力の向上対策と併せ、学校教育活動全体を通じた取組が必要である。
- ③ 家庭や地域と連携した健康教育の取組が求められる。
 - ・生活全般についての改善の必要性から、食育や外遊び（運動）の推進のために保護者、学校保健関係者との連携をさらに促進する取組が必要である。

(2) 取組の方向性

- ① 学校における取組と家庭における取組を明確にしつつ、健康課題解決に向けて連携を深める。
 - ・保健相談の充実により、学校と家庭が児童生徒の健康状態についての情報交換を行うなど連携を図る。
 - ・家庭においては、「児童生徒の適切な食事と睡眠」を心がけるとともに、休日の運動量の確保を促す。
 - ・学校における運動機会の創出を図る。
- ② 「肥満」や「むし歯」の減少や健康に関する意識の向上など健康教育への取組を推進する。
 - ・学校の教育活動全体を通して、子供たちに自分の身体への関心を持たせ、食事・睡眠・運動の大切さを理解させ、行動変容への働きかけを継続して行う。
 - ・学校・地域保健連携推進事業において、教育事務所単位で地域の専門医等の有識者による研修を行うなど、健康課題の改善に向けた取組を行う。
 - ・学校間の連携や、地域保健と連携し、健康教育を充実させる。

ライフスタイル調査（児童生徒の生活習慣に関する調査）からの抜粋

令和3年度事業 委託先：東北大学メディカル・メガバンク機構

(1) 肥満について

- ・運動やスポーツに興味関心がある者の肥満リスクが低いため、運動やスポーツを嫌いにならない指導が重要。
- ・自身の適切な食事摂取量を超えて食べないようにする指導が重要。
「食事は残さず食べよう」から「自身に合った適切な量の食事を知ろう」へ。
- ・家庭へ「適切な量の食事を提供する」ように協力を得る。

(2) むし歯について

- ・約95%が一日2回以上歯を磨いており、歯を磨く時間が1分未満の約8%の層や、晩に歯を磨かない約4%の層へのアプローチが重要。
- ・夕食後の間食を控え、摂取するとしても就寝前1時間半までに止める。
- ・運動中や運動後、放課後の活動中に摂取する飲食物、ドリンク類等にも配慮が必要。

宮城県美術館リニューアル改修基本設計の概要について

1 設計の経過

- 令和3年10月 美術館リニューアル改修設計業務委託 契約締結（土木部）
 令和4年 7月 美術館リニューアル基本方針策定検討会議構成員への説明
 及び意見聴取
 令和4年 8月 美術館リニューアル改修基本設計 完了

2 設計の概要

別紙のとおり

3 今後の予定

- 令和5年 3月 美術館リニューアル改修実施設計 完了
 令和5年度中 美術館リニューアル改修工事 契約・工事開始
 令和7年度中 美術館リニューアル改修工事 完成・開館準備
 美術館リニューアルオープン

（参考）県美術館リニューアル改修基本設計に係る美術館リニューアル基本方針
 策定検討会議構成員の意見概要

主な意見（ハード中心）

- 現講堂部分に汎用的な使い方ができる室があるとよい。
- 魅力的な鑑賞環境のためには、展示壁は、直打ち・塗替え可能な白壁がよい。
- ストレッチャー対応の大きなエレベーターを増設するのがよい。
- 県民ギャラリーへの搬出入の動線の検討が必要。
- 県民ギャラリーはもっと大きいとよいが、キッズ・スタジオも大切。

主な意見（ソフト中心）

- 収蔵庫そのものの有り様を体験できるプログラムがあるとよい。
- 館の夜間開放が行われるとよい。
- 県内美術館の収蔵作品資料のデジタルアーカイブを学校で活用できるとよい。
- 若手芸術家への助成や学生展への展示室の開放等が行われるとよい。
- 新しい県民会館にできるギャラリーとの連携は必要。
- 主体性と責任をもった当事者的なボランティアの導入・育成が必要。

基本設計のポイント

老朽化対策

- ① 空調・熱源等の各種設備更新 → 長寿命化, 作品保存機能の維持, 運営効率の維持向上
- ② 外構・屋上防水等の劣化箇所修繕 → 耐久性向上, 施設機能の維持, 美観の維持向上

社会状況やニーズの変化への対応

① 現講堂をキッズ・スタジオ(仮称), 新県民ギャラリーへ用途変更します

- キッズ・スタジオ(仮称)は, 素材体験や造形遊びなどの美術体験ができるスペースで, 現在の造形遊戯室の機能を併設するほか, 学校等の団体を対象としたオリエンテーション等を行うスペースとしても多目的に活用します。
- 新県民ギャラリーは, 個人や少人数のグループ等による作品の展示会に対応します。(ギャラリー機能は新県民会館にも整備予定) → 創作・教育活動の充実, 子ども・保護者等の美術体験活動の促進, 県民の創作活動発表の場の確保 (子どもたちの豊かな体験を創出する美術館, とともに築きあう美術館)

② 現図書室, 現映像室を情報・交流ラウンジ(仮称)へ用途変更します

- 情報・交流ラウンジ(仮称)は, 自由に滞在でき, 美術と美術館に関わる様々な情報に触れることができるスペースで, 映像放映やレクチャーを行うスペースも併設します。 → 誰もが憩い, 学び, 交流する機能の向上 (人々が憩い, くつろぎ, 集い, つながる美術館)

③ 現県民ギャラリーを新展示室, 新収蔵庫へ用途変更し, 「見える収蔵庫」を設置します

- 新展示室には, 絵本原画を中心に収蔵した状態で展示を行うスペースを併設します。
- 既存展示室も, 壁紙・照明等の更新により機能性の向上を図ります。 → 魅力的な展示の実現, 安全な収蔵環境の拡充 (国内外の人々が魅了される美術館)

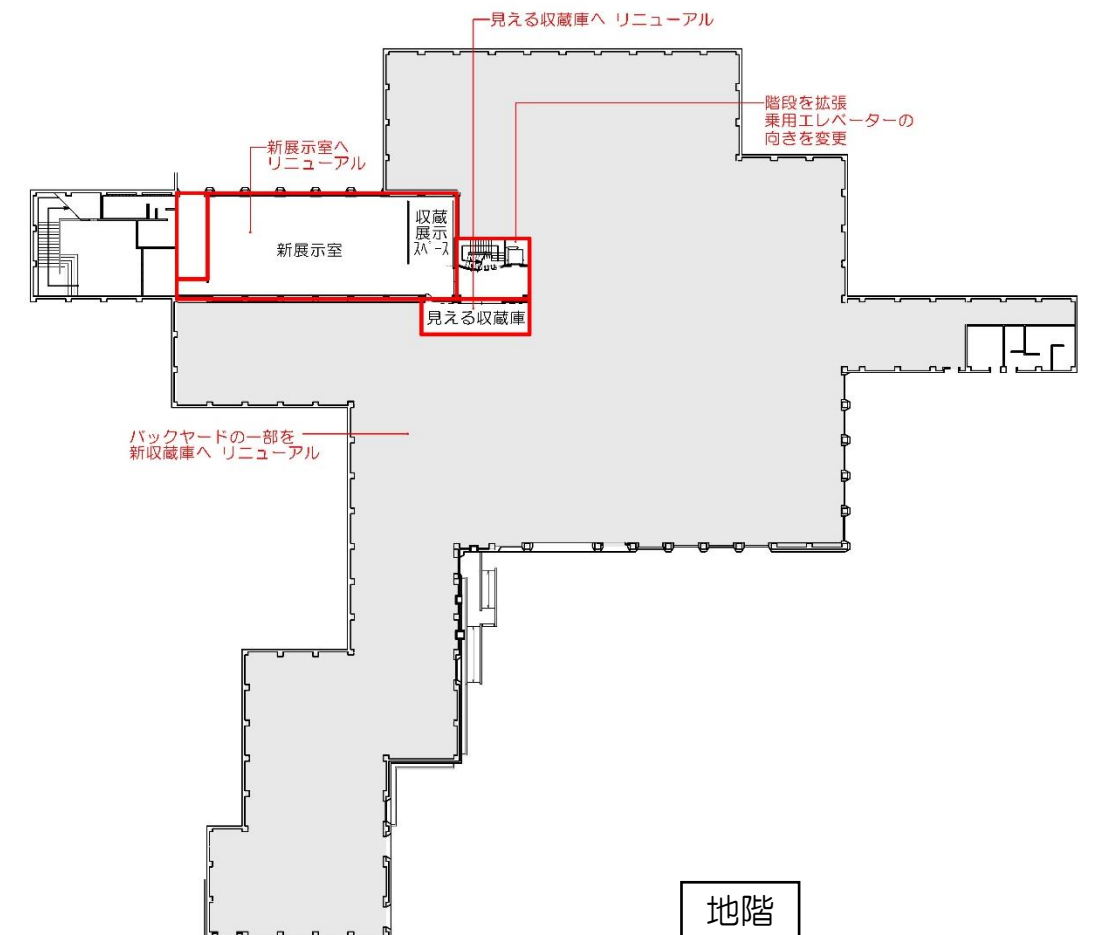
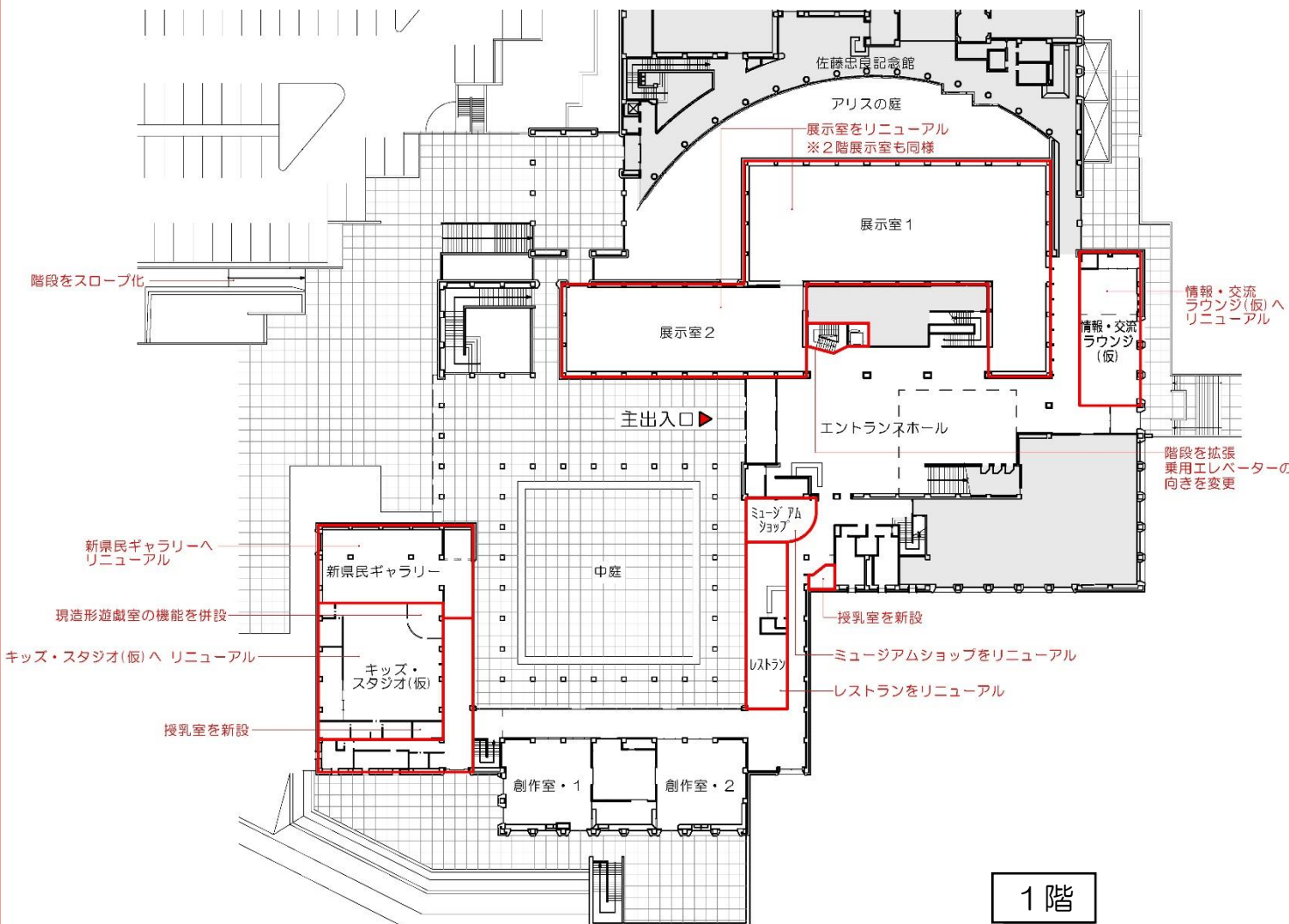
④ レストラン, ミュージアムショップの拡充, トイレ設備更新, 授乳室新設等を実施します

- 美術館の魅力向上, バリアフリー化, ユニバーサルデザイン化 (人々が憩い, くつろぎ, 集い, つながる美術館)

主要室の改修概要

階	旧室名	新室名(仮称)	面積(概算)	新室機能概要等
地階	県民ギャラリー他	新展示室	約360㎡	常設展や企画展で使用できる展示室 (絵本原画等を収蔵展示するスペースを併設)
		見える収蔵庫	約50㎡	絵画等を収蔵状態で鑑賞できる新しい収蔵庫
		新収蔵庫	約290㎡	収納性と機能性に優れた収蔵庫
1階	講堂	キッズ・スタジオ (現造形遊戯室機能を含む)	約290㎡	子どもの創作活動を中心に団体活動等にも利用できるスペース。授乳室を新設
		新県民ギャラリー	約190㎡	県民の創作活動の発表の場となるギャラリー
	レストラン	レストラン, ミュージアムショップ	約170㎡	レストラン, ミュージアムショップを拡充
	造形遊戯室			
	ミュージアムショップ	授乳室	約10㎡	授乳室を新設
	図書室	情報・交流ラウンジ	約160㎡	来館者が美術情報に触れ, くつろげるオープンスペース (レクチャーに使用できるスペースを併設)
	映像室			

リニューアル後の平面計画



事業の実現に向けて

事業スケジュール

※現時点での想定であり, 設計の進捗等により, 変更となる場合があります。

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
基本設計 実施設計		改修工事	閉館準備 リニューアルオープン